

# 信州SDGsアワード2021 長野県知事賞（企業・団体等部門/団体等の部）

一般社団法人 広域連携事業推進機構

ふぞろいのストロープロジェクト

達成につながるゴール



## 【取組の概要】

- ・脱プラスチックの1つの方策である「麦わらストロー」を生産販売する社会実験として、全国各地の農業生産者、民間企業、社会福祉法人等が地域や組織の垣根を超えて活動。
- ・長野市ではライ麦の茎を材料に、信州新町授産センターでストローへの加工を行い、2021年度は10,000本を販売。
- ・2022年度に向けては、令和元年東日本台風で被災した長野市長沼地区でも麦の栽培を開始し、復興支援に繋げる。



## 【取組の特徴】

- ・ストローの生産にあたっては、近隣の福祉作業所へ加工を依頼することにより、農福連携で事業を進めている。また、生産と合わせて、麦ストローとSDGsに関する講座を学校や会社で行い、環境問題やSDGsの学習の場を提供している。
- ・麦わらをアップサイクルして有効活用するとともに、ストローにならない細かい茎を工芸品の材料に活用したり、麦わら残渣をやぎの餌として活用するなどの工夫をしている。

## 【関連リンク】

<https://fuzoroi.rpa.or.jp/>





### 【ライ麦栽培】

長野市の犀川沿いにある畑でライ麦を栽培。

6月中旬1.5m程まで成長した麦を茎を傷つけないように手刈りで収穫。



### 【加工作業】

信州新町授産センターでの加工の様子。

乾燥させた麦わらをカット・選別・煮沸消毒し、箱詰めして製品化。



### 【長野市長沼地区での播種】

11/13に長沼地区で行ったライ麦の種まきイベント40名近くの参加者があった。

被災者支援チームhope appleとの協働企画で、地域の関係人口を増やす取組である。



### 【小学校での講座の実施】

信州新町小学校で麦ストローとSDGsに関するレクチャーとヒンメリ(麦わら細工)の体験ワークショップを実施。

楽しみながら環境について学ぶ機会となっている。